



大沢田

おお

ぞう

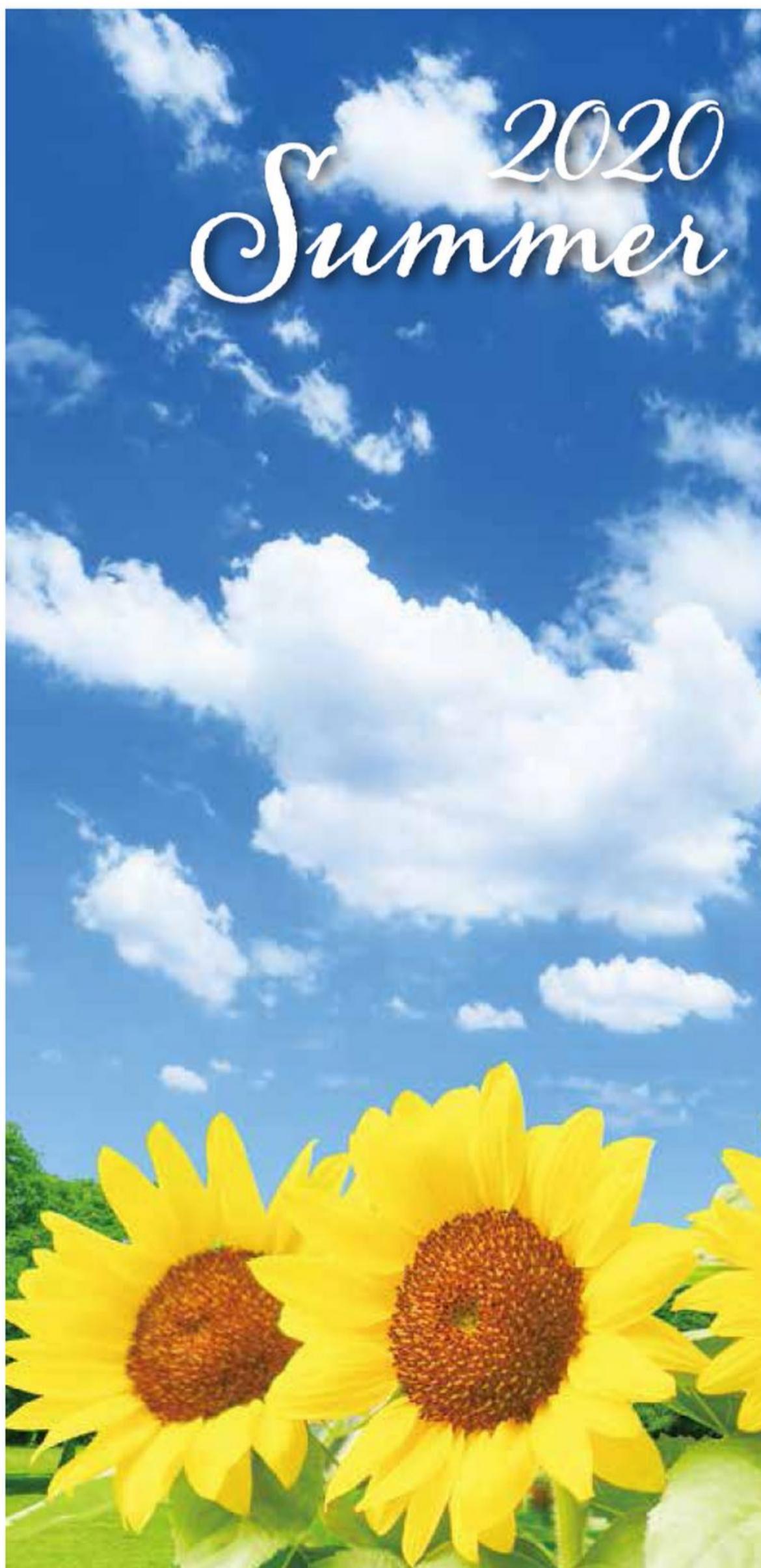
た

令和2年
夏号
vol. 137

大沢田とは？



大沢田の名は、病院前にある大沢田池に由来します。古くは大藏田池と言われていましたが、今では大沢田池の呼称が一般的になっています。



TOPIC

新型コロナ感染症によせて、5月

院長 勇木 清

新看護部長・事務部長挨拶

看護部長 榎 実穂／事務部長 野村 哲朗

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

当院におけるこれまでの取り組みについて

呼吸器内科部長 宮崎 こずえ

東広島市のドライブスルー方式によるPCR検査について

副院長 高橋 忠照

初期臨床研修医挨拶

初期臨床研修医 益野 麻由／眞田 莉花／荻本 丈人／小浦 洋和
／渡邊 真子／松本 晃典／村上 智／島田 俊宏／岡田 義央

CONTENTS

新型コロナ感染症によせて、5月	2
HCC設立！	3
新看護部長・事務部長挨拶	4
【医療の話題117】新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 当院におけるこれまでの取り組みについて	5～6
東広島市のドライブスルー方式によるPCR検査について	7～8
民間からの厚い支援に感謝	9
ご支援ありがとうございます	10
当院における感染拡大防止の取り組みについて	11
PCR LAMP法ができるようになりました	12
周産期システムが導入されました	12
Webで病院見学会を行いました	13
初期臨床研修医挨拶	14～18
新採用者オリエンテーション	19
リハビリ新ユニフォーム	19
人事異動	19



独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513番地
TEL 082-423-2176 FAX 082-422-4675
<https://higashihiroshima.hosp.go.jp/>

発行責任者：事務部長 野村 哲朗

新型コロナ感染症によせて、5月

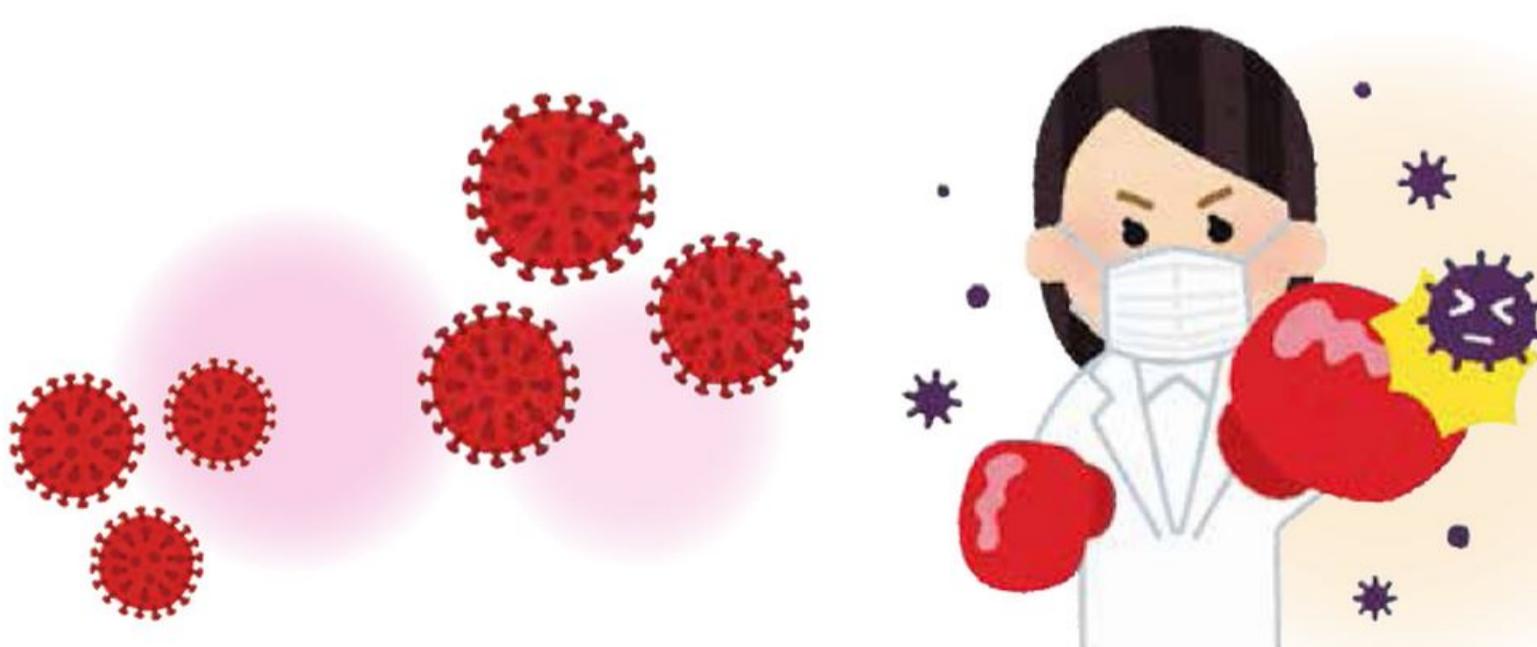
院長 勇木 清



2019年12月に中国湖北省武漢市に端を発した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は急激な勢いで世界各地に拡散し、世界保健機関は2020年3月11日にパンデミック宣言を出しました。日本国内でも感染者数は増加し続け、4月7日には緊急事態宣言が発出され、東京都を含む7都府県が指定を受け、4月16日には全国に指定が拡大されました。広島県においては、広島感染症・疾病管理センターが1月より対応の協議を始めました。広島県には5つの感染症指定病院があり、当院はその一つです。しかし当院は一つの病棟ユニットの中で結核の患者と新型コロナウイルス感染症の患者を同時に治療することとなります。長きにわたり広島県の結核患者治療を支えてきた病床ですが、広島県と協議、指導のもと結核患者を他の病院へ転院して頂き、新型コロナウイルス感染症への対応に専念することとしました。多くのスタッフの努力で2月7日よりその体制が整いました。とは言え多くの難題があり、一つずつ一つずつ前に進んでいる感じです。日本全体や広島県と状態に呼応するように環境を

整備・改変し、スタッフのゆれる心もかみしめながら、そして多くの支援を受けての医療現場です。現在まで最大1日9人の感染症の入院患者があり、現在も入院患者はおられます。5月なかば時点で、全国的に新たな感染者の数は減少しましたが、長い闘いになるのは必至です。

当院には東広島市を含めた広島中央医療圏22万人の唯一の急性期総合病院としての使命もあります。新型コロナ感染症と闘いつつ、当地域を守る2.5次救急医療体制を保持しつつ、通常医療の機能維持が求められます。コロナ感染者の入院受け入れやPCR検査への協力のため、一部の医療体制を縮小するなどもしましたが、この4か月間は当院の役目を果たしてきました。医師会や行政との連携も強化し、また4月21日からはドライブスルーPCRセンターへ当院医師が検査に出向き、県内クラスター施設へのスタッフ派遣なども行っています。今後も当地域の医療を守り、COVID-19とも戦い続けるにあたり皆さまのご支援、ご協力を何卒宜しくお願いします。



HCC設立!

院長 勇木 清



HCCは新型コロナ感染症対策本部(Headquarters of Countermeasures against COVID-19)のことです。院内には感染対策委員会が常設されていますが、新型コロナ感染症に関することは別途切り離して本部を設けて対応することにしました。過去には何度か災害対応のために院長室に連結した応接室に対策本部を立ち上げ、必要な人員、物品を結集しました。この感染症対応は災害モードと判断し対処することとしました。

当院では新型コロナ感染症について1月末より対応を重ね、院内周知や各種会議、委員会などでの調整を行いましたがいろいろなことが山積し、スムーズな解決と院内の決定ができない状態となっていました。幹部職員を含めかなりの数の人事異動が年度末にあったなども要因です。新たにコアとなるスタッフに声をかけ4月2日にHCCを立ち上げました。朝、夕2度集まり、適宜いろいろな部門からの意見を吸い上げて問題の解決を急ぎました。

当院は以前より結核感染症へ治療で空気感染対策を基礎に長年診療機能を維持していました。新型コロナ感染は飛沫感染対応をガイドラインで示されていますが、ス

タッフへの感染防御を第一と考え、陰圧室に加えN95マスクの着用など感染予防の質を低下させることなく対応してきました。多くの方々の協力・支援で医療物資をなんとか確保し、現場スタッフの協力や工夫などで対応してきました。

広島県の新型コロナ感染症対策特別警戒本部、広島感染症・疾病管理センター等と連絡を密にして、情報の精度をあげていくことも有用でした。当初は県内には5つの感染症指定施設しかなく、連携をとりつつ対処するのも心もとなくもありました。5月中旬の現在は、広島県にトリアージセンターが設置され、患者の差配が可能となり、県内の18の医療機関に感染症対応の入院病床が確保され、ホテルの借り上げによる軽症患者対応も用意されています。また人工呼吸器での治療が行える集中治療室病床も35床準備されました。

今後も感染の発生状況による変化、医療物品の調達、教育と連携、季節へ対応など多くの問題を解決していくかなければなりません。いつまでHCCが継続されるのか、すなわちCOVID-19との闘いが終焉するのかわかりませんが、出口戦略も見据えつつ継続していくしかないと考えています。



新看護部長・事務部長挨拶

看護部長 榎 実穂

このたび、4月1日付けで井原看護部長の後任として参りました榎でございます。東広島医療センターは、以前にも勤務したことがございますのでお世話になった方々も多いことと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当院は、急性期医療、そして新型コロナウイルス感染症にも対応する感染症指定医療機関としての使命がございます。当院の看護部の理念は、「人間愛に根ざした確実な看護と、専門職としての知識と技術と感性

を磨き、適切な看護を提供します」です。この看護を提供するためには、一人ひとりが誠実に、自ら学び医療人として成長する必要があると思っております。

他職種や地域の皆様とのコミュニケーションをより一層深め、地域に貢献できる看護の提供に努めて参りますので、今後ともご支援ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。



事務部長 野村 哲朗

福山医療センターから参りました野村と申します。出身地は山口県下関市で現在は広島市に住んでいます。趣味はジョギングです。走るときには京大の山中教授が提唱されるジョギングエチケットを心掛け、バフ(口元や鼻を覆う布)を着用し、他人との間隔を最大限確保するよう努めています。

さて、当院は、広島中央二次保健医療圏における地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、地域周産期母子医療センター、地域災害拠点病院、そして2.5次救急病院としての使命を果たして来ました。しかし、この度の新型コロナウイルス感染

症の流行拡大により、これらに加え第二種感染症指定医療機関としての使命も果たしていかねばなりません。

第二次世界大戦以来の最大の試練とも言われる状況の中、地域の方々の健康と生命を守り抜くため、勇木院長の指揮の下、当院職員の皆様を始め、地域の連携病院、東広島地区医師会、東広島市、広島県西部東保健所、そして大学の皆様と協力関係を築き、力を合わせてこの戦いに挑んでいきたいと思います。皆様のご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



新型コロナウイルス感染症(COVID-19)
当院におけるこれまでの取り組みについて

呼吸器内科部長 宮崎 こずえ

Health topic 117

■はじめに

昨年末に原因不明の肺炎が中国で報告された時に一抹の不安を覚えました。その後新型コロナウイルス感染症は拡大し、当院も受け入れ体制を整備し対応してまいりました。

以下に、新型コロナウイルス感染症の臨床像と、当院におけるこれまでの取り組みについて述べたいと思います。

■新型コロナウイルス感染症の臨床像

感染経路は、一般的には飛沫感染、接触感染で感染しますが、換気が悪い環境では咳やくしゃみがなくても感染すると考えられています。無症状感染者からの感染リスクもあります。潜伏期間は、1～14日間で、暴露から5日程度で発症することが多いとされています。発症前から発症直後が最も感染力が強いとされています。

症状は、発熱、咳嗽、咽頭痛、鼻汁、頭痛、倦怠感などが比較的多くみられ、嗅覚障害、味覚障害を伴うこともあります。診断時には約8割が無症状や軽症であったと報告されていますが、発症後1週間から10日目以降に重症化する例があります(図1)。重症化のリスク因子としては、高齢者、基礎疾患(糖尿病・心不全・慢性呼吸器疾患・高血圧・がん)、喫煙歴のある患者では、致死率が高いとされています。

帰国者・接触者相談センター等への相談の目安は、5月末現在では図2の通りです。

■当院におけるこれまでの取り組み

当院は第二種感染症指定医療機関に指定されており感染症ユニットにおいて結核診療を行っていましたが、このたび広島県からの要請により結核患者に急遽転院していただき、2月7日より新型コロナウイルス感染症受け入れのため病床を確保しました。感染制御チーム(ICT)を中心に関連部署と病棟のゾーニングおよびシミュレーションを行うなど受け入れ準備をすすめました。

また、外来診療では、医療機関や保健所の帰国者・接触者相談センターから新型コロナウイルス感染症が疑われて紹介された方などへの対応を行いました。院内感染防止のため病院外で電話にて問診し、必要時は個人防護具を着用し一般患者とは動線を変えて専用室で診察とPCR検体(鼻咽頭ぬぐい液)採取を行い県の検査機関に提出、専用病床にて入院診療を行いました。PCR検査は、2月14日から4月19日までの約2ヶ月間に100件の検体採取を行いました。4月20日からは、院外のドライブスルーPCRセンターにて軽症例の検査が可能となつたため、当院では肺炎の入院症例への検査が中心となり、その後の5月28日までは41件(LAMP法を含む)でした。当院でこれまで診断目的にて採取した検体141件中、陽性結果は1件のみでした。

その間、4月上旬からは感染者が入院されました。感染症ユニット陰圧室に一時は9名の患者を

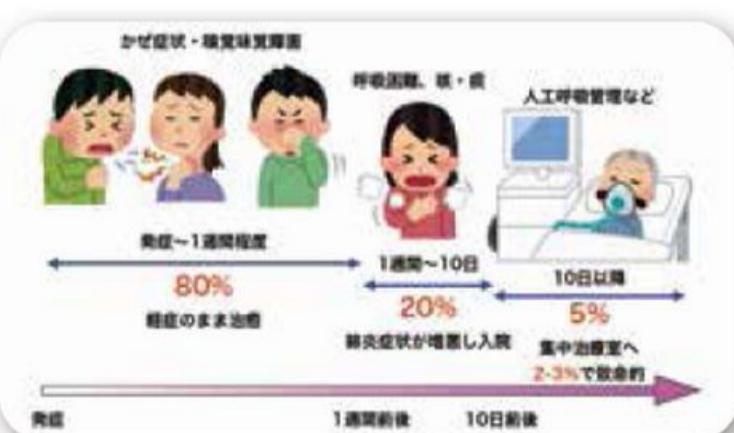


図1：新型コロナウイルス感染症の経過

少なくとも以下のいずれかに該当する場合が対象である。これらに該当しない場合の相談も可能である。

- ☆ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ☆ 重症化しやすい方(*)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- (*) 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
- ☆ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合

(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

図2：帰国者・接触者相談センター等にご相談いただく目安
(2020年5月13日改訂)

次ページへ続く→

Health topic 117

前ページから続く→

受け入れましたが、5月末時点ではその多くが退院、転院、宿泊療養に移行しました。これまで3名にファビピラビル(アビガン[®])を投与しました。さまざまな基礎疾患有する方も含まれていましたが、幸い現時点で重症化例はありませんでした。

一方、他疾患で入院される患者に感染者が紛れ込む可能性も懸念されます。LAMP法による遺伝子検査が院内でも可能となり60-90分程度で結果が判明するため、緊急時など様々な状況での活用が期待されます。

全国で問題となりました個人防護具の不足については、医療用N95マスクは厚生労働省からの指示により当院でも再利用を行っていますが、地元の民間の方々からも防護具をはじめとして様々なご支援をいただき大変感謝しております。

■おわりに

現時点では、抗ウイルス薬による特異的な治

療法はなく臨床研究・試験の段階であり、ワクチンもまだありません。長い戦いが続くと思われますが、今後も病院全員で対策を継続していきたいと思います。皆さんこれからもご協力をお願いいたします。

<引用・参考文献>

- 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症について
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
- 国立感染症研究所 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連情報
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/coronavirus/2019-ncov.html>
- 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き 第2版(厚生労働省)

新型コロナウイルス感染症について

お知らせ

「新型コロナウイルス感染症の基本的対処方針」に基づき判断を進めています。(5月25日)
第3回新型コロナウイルス感染症対策本部が締結されました。(内閣官房ホームページ) (5月25日)
新型コロナウイルス感染症対策本部が締結に関する内容はこちらをご覧ください。(内閣官房ホームページ)
「新型コロナウイルス感染症の状況分析・発展」を更新しました。(5月29日) [NEW]
新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を発表しました。(5月7日)
「新しい生活様式」における感染症予防行動のポイントをまとめました。(5月29日) [NEW]
「人ととの接触を少減減らす。10か点ポイント」を公表しました。(4月24日)
「医療院でご注意いただきたいこと～8つのポイント～」を公表しました。(3月1日)
「3つの密を避けましょう」を公表しました。(3月28日)
電話・オンラインによる診療がますます便利になります。「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえたオンライン診療について」(4月20日)
レムデシビルの投与を若狭町の医療機関の皆さんへ(5月11日)
リーフレット「生活を変えるための実践のご案内」を発表しました。(やさしい日本語、多言語版はこちら) (5月27日)
社会の方々等に向けた対策に関する情報をまとめました。
県境における妊娠中の女性労働者等への配慮のための情報をまとめました。
高齢者の健生きに寄つていただきたい情報をまとめました。(4月3日)
医療施設勤務者の特別措置を追加実施します。また、時間外労働等改善制度の特例を設けることとしました。
生活様式変更の特別措置・医療機関対応の陸讃市ホームページを掲載しました。(5月28日) [NEW]

厚生労働省
新型コロナウイルス感染症について

NIID 国立感染症研究所

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連情報ページ

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年5月2日更新)

検査マニュアル(2020年5月2日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年4月14日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月12日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月11日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月10日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月9日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月8日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月7日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月6日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月5日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月4日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月3日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月2日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年3月1日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月29日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月28日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月27日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月26日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月25日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月24日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月23日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月22日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月21日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月20日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月19日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月18日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月17日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月16日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月15日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月14日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月13日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月12日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月11日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月10日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月9日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月8日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月7日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月6日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月5日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月4日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月3日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月2日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年2月1日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月31日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月30日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月29日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月28日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月27日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月26日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月25日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月24日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月23日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月22日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月21日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月20日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月19日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月18日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月17日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月16日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月15日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月14日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月13日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月12日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月11日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月10日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月9日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月8日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月7日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月6日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月5日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月4日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月3日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月2日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月1日更新)

2019-nCoV(新型コロナウイルス)感染を疑う患者の検体採取・検査マニュアル(2020年1月1日)

厚生労働省
新型コロナウイルス感染症について

国立感染症研究所
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)関連情報



Information 1

東広島市のドライブスルー方式による PCR検査について

副院長 高橋 忠照



2019年12月、中国の湖北省武漢市で肺炎患者の集団発生が報告され、WHOは公衆衛生上の緊急事態を2020年1月30日に宣言しました。新型コロナウイルス(COVID-19)は日本国内でも1月16日に初めて患者が報告されました。当院では、感染症指定病院であることを受け、2月7日には感染症ユニット入院中の結核患者を他院に転院していただき、COVID-19患者の入院受け入れ態勢を整えました。

その頃から、外来ではCOVID-19を疑い、鼻腔・咽頭拭い液によるPCR検査を行う患者が出始めました。

3月後半から4月に入りPCR検査は一日3～4件となる日がほぼ毎日のようにになってきました。

問診、診察、鼻腔・咽頭拭い液を採取する医師、並びに介助する看護師はPPE着用が必須であり、胸部レントゲンを撮る放射線技師も、検体検査を行う検査技師も検査中はPPE着用の必要があります。胸部CT検査が必要な場合は、治療用位置決めのCT装置で行います。その日の予定検査終了後となるため夕方4時以降となります。そういう大変手間な作業があり一件当たり2時間近くかかります。

勇木院長の強い働きかけにより、東広島市、東広島地区医師会、東広島医療センターの協力の下、駐車場でドライブスルー方式によるPCR検査を開



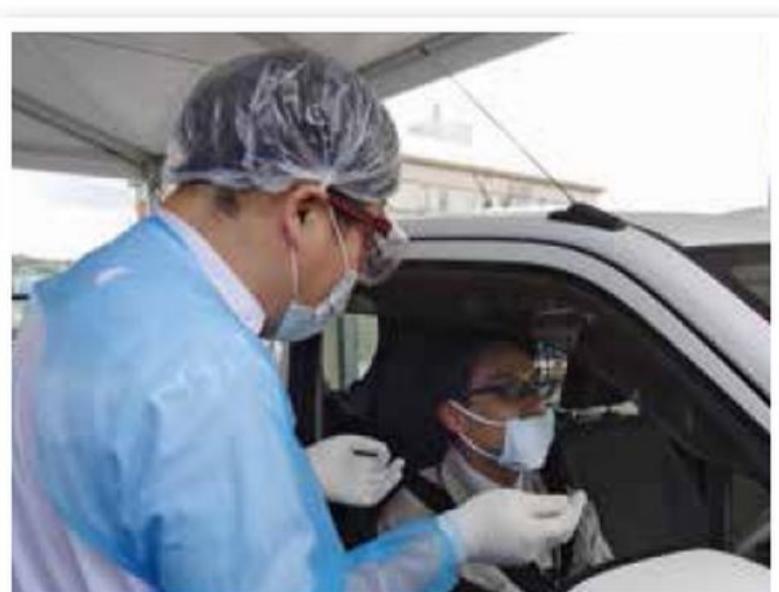
ドライブスルーの会場

始することになりました。

これにより当院でのPCR検査件数の減少が期待されました。

4月20日に勇木院長、当院小児科ICDの上野医師、山田東広島地区医師会長、多田東広島副市長の立会いの下、リハーサルが行われ翌21日から実際に運用されました。

副院長の監督・指導の下、2年目の初期臨床研修医がPPEを着用し鼻腔のPCR検査を行いました。PPE着脱に約10分、一件当たり約5分程度で終了し、検査を8件行っても一時間以内には終了できました。検査終了後は森田医局長の提案で研



ドライブスルー方式でのPCR検査を行う医師と保健師

次ページへ続く→

前ページから続く→



東広島市職員によるフライデーオペーション

修医たちには帰院後すぐにシャワーを浴びてもらいその後はFree timeとしました。

当初は月曜日から土曜日まで毎日検査(月曜日から金曜日は東広島医療センター、土曜日祝日に関しては医師会担当)を行い、一日6～8件の検査がありましたが、緊急事態宣言が解除される頃には一日1～2件程度になり6月からは隔日での検査となり東広島医療センターは火、木曜日のみとなりました。

6月からは初期臨床研修医1年目の先生方(彼らには、PPEの着脱方法、鼻腔・咽頭拭い液の採取方法の講習を受けていただきました)にも参加していただけた予定で、研修医個々の負担はずいぶん軽減されると思います。

4月30日には、中国新聞の記者による取材がありました。(残念ながら、当日の検査は1件しかなく新聞記事にはなりませんでした)

その頃は、広島県で4か所(広島市内は5月16日から土曜日のみ開始)ドライブスルー方式のPCR検査場が設置されていました。

5月13日にはNHK広島が取材に来て当日の夕方6時15分からのお好みワイドひろしまで東広島でのドライブスルー方式のPCR検査が紹介されました。研修医の渡部真先生がN95マスクを着用す



途中にあるお弁当テイクアウトのドライブスルー

るところがアップで放送されました。ご覧になられた方も多いのではないでしょうか?

また、毎週金曜日には東広島市の職員の方等が私たちに対してフライデーオペーションで出迎えてくれています。

6月1日現在 ドライブスルー方式でのPCR検査は約100件ありましたが陽性例はなくすべて陰性でした。

今後は、唾液によるPCR検査が進められ、ドライブスルーによる鼻腔でのPCR検査は行われなくなるのではないかと思われます。ドライブスルーによるPCR検査を経験することはめったにないことで初期臨床研修医にとっては良い経験になったのではないかと思います。

最後に、東広島医療センターからドライブスルーの駐車場まで、東広島市から寄贈されたDMATカーで、連日医師、看護師の送迎をしていただいた庶務の村岡さんに感謝いたします。





Information 2

民間からの厚い支援に感謝

企画課 平本 浩彦

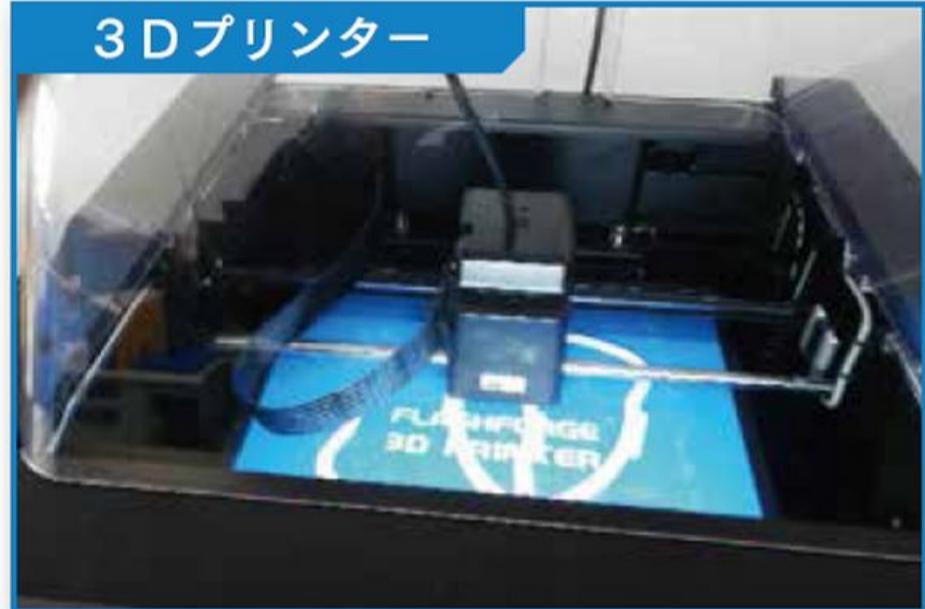
新型コロナウイルスが拡大し始めた4月初旬、事務所に1人の男性が来院されました。東広島市にある有限会社シー・アイ・エス社長 吉岡 秀二郎様。その手には精巧に作成されたフェースシールドが。病院が大変な中、何か役に立てることはないと考え、3Dプリンターで試行錯誤の上制作されたそうです。

早速、感染対策チームに持ち込むと高評価。是非とも欲しいとのことから、直ぐに吉岡さんに電話しました。2日後には10個、その次の日も10個、出来るたびに持ち込んでいただきました。聞くところによると、3Dプリンター2台で4個生産するのに4時間かかるとのこと。そんなに時間がかかるのですか、とびっくりして聞いてみると、短時間で仕上げてしまうとプラスチック部分が荒くなり、顔に引っかかったりするため、滑らかに仕上げるには時間がかかるとのことでした。

必要な部署への納入を完了頂いたとき、あと何個必要ですか、と聞かれました。マスクやガウン、フェースシールドなどの防護具が極端に不足する中、私はもっと下さいと言いたい気持ちを抑えていました。

シー・アイ・エスさんは主に電子機器の回路・メカ設計や医療用給食ソフト作成などを行う会社であり、仕事の合間に朝から晩まで、更には土日も

3Dプリンター



交替でフェースシールドを作成されていることを聞いていたからです。

それでも今の病院の状況を考え無理を言って、院内には必要としている部署がまだあります。と相談したところ、吉岡さんは、皆様のお役に立てる事を社員一同喜んでいます、と笑顔でお引き受けいただきました。

このことは、院内の感染対策本部会議でも報告しました。地元の民間企業が病院を応援してくれている。そのことが、病院の強さに繋がっていくことを実感しました。

フェースシールドをご寄付頂きました有限会社シー・アイ・エスの皆様には心より感謝申し上げます。

作業風景



ご支援ありがとうございます



有限会社シー・アイ・エス様より
フェースシールド



広島県フラワー活性協議会様より
お花



伊藤園様より
飲料



プレスネット様より
折鶴



ジャニーズ事務所様より
マスク



コカ・コーラ様より
飲料



東広島市様より
食事



花王様より
グッズ詰め合わせ



日本サッカー協会様より
ポンチョ



ユニクロ様より
マスク

その他
マスク：介護タクシーかがやき様
第一生命株式会社様
ガウン：ジャニーズ事務所様



Information 4

当院における感染拡大防止の取り組みについて

管理課長 植田 誠司



新型コロナウイルス感染症が話題になり始めてから、早いもので4ヶ月が経過しようとしています。当初はどういった病気なのか、対策、対応は、どうしたら良いのか、治療方法、薬はあるのか全く分からず、注目となったのが、2月3日に横浜港に到着したクルーズ船でした。感染拡大を防ぐため、部屋から出れず、上陸もできず、本当に苦しい生活を強いられたと思います。

しかしながら、徐々にこのウイルスに対する対応策が打ち出され、医療機関、行政、地域で取り入れられました。当院においても、第二種感染症指定医療機関であることから、患者の検査や、患者誘導、入院・外来対応における感染拡大防止策を実施してきました。これはこれからも継続して行っていく必要がありますので、ご紹介しておきます。

1. 面会禁止措置
2. 業務中のマスクの着用
3. ソーシャルディスタンス(社会的距離)を目的とした待合座席の増設
4. 院内の換気促進
5. 受付等にビニール製の透明カーテン設置
6. 手指消毒設置場所の増設
7. 学生・実習生の受入中止
8. 職員の健康管理、体温測定
9. 外来患者の体温測定
10. 電話による処方箋の発行
11. 一部手術の延期
12. 新規の里帰り分娩の中止
13. 食事中の会話の自粛、食事のための会議室の開放、自家用車内の食事推奨
14. 会議の短縮、中止、席数の多い会議室へ変更
15. 毎日の定期的な院内設備の消毒(作業グループが実施)

その他、色々と実施して参りましたが、大まかに以上のような対応を行い、感染拡大防止策を展開して参りました。

これは、職員皆さんの健康を守り、患者さんやご家族を守る取り組みです。

今後も継続し取り組んで参りますので、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。皆さんも「三密」を避けて生活しましょう！！



Information 5

PCR LAMP法ができるようになりました

臨床検査技師長 笠井 昇



「PCR」って医療関係者だと分かる方もいらっしゃいますが、一般の方でしたら普段聞き慣れない語句だと思います。が、世界を恐怖と不安に陥れた新型コロナウイルス…と言えば聞いたことがある方も随分おられると思います。

当院は、令和2年4月27日より患者から採取された鼻腔検体を用いて院内で新型コロナウイルスの遺伝子検査を行っています。このPCRとは、Polymerase Chain Reaction(ポリメラーゼ連鎖反応)の頭文字で、特定の遺伝子(DNA)を捕まえて増幅させる検査です。

目的とする遺伝子を増幅させる方法の一つとしてLAMP法があります。

このLAMP法は、標的遺伝子の6つの領域に対して4種類のプライマー(短鎖DNA)を用い、鎖置換反応を利用して一定温度で反応させるとDNAを15分～60分で $10^9 \sim 10^{10}$ 倍に増幅することができます。この増副産物の濁度を測定することによって陰性か陽性かを判定します。

勿論ターゲットは、DNAの増幅産物ですが、新型コロナウイルスは、RNAウイルスです。そこは、逆転写酵素を作用させることによってRNAからDNAへ変換させて測定することができるのです。最後に検査時間は、60～90分程度で報告可能です。



Information 6

周産期システムが導入されました

7病棟 實森 直美



2020年3月7日に新周産期システムを導入しました。新システム導入の取り組みは1年前から始めました。まず、ワーキンググループを立ち上げ、スタッフが困っていることや、システムが変更できれば安全に看護できるという視点を中心に意見を集約しました。導入当日は既存の周産期システムが止まるだけでなく、分娩監視装置からの陣痛波形をスタッフステーションで確認することができなくなるため、スタッフ同士がコミュニケーションを取りながらワンチームで看護を行いました。

患者さんも空気を読んで、お腹が張る人やお産になる人はいませんでした。

新システムは文字の色や表示画面の背景にピンクを多く使いました。忙しい中でもピンク色に癒されてほしいとワーキンググループメンバー押しのポイントです。まだ導入したばかりなので、ピンク効果が出ているかわかりませんが、母子とスタッフの笑顔があふれるように新周産期システムを活用して頑張ります。



Information ナ

Webで病院見学会を行いました

統括診療部長 柴田 諭



新型コロナ感染症の蔓延により、様々な催しが昨年度末から中止になりました。その中で、大切であったものの一つが、来年度以降の当院での臨床研修を希望する学生に対する病院紹介です。医師の場合は8月のマッチング面接に向けて、最も多くの行事のある時期で、3月から7月にかけて広島、福岡、大阪での合同臨床研修プログラム説明会が中止となり、さらに5月の当院主催の病院見学会・説明会も中止となりました。個別の病院見学も3月末ごろまでは受け入れて来ましたが、こちらも4月からはお断りしています。

なんとか学生さんたちに当院に対する興味を持っていただくように、情報発信の方法を考えていたところ、3月末に友人から遠隔会議システムのZOOMについて、無料でもあり結構便利との話を聞きました。4月に入り研修2年目の勝間田先生、前田先生たちと医局で何度か試してみると、簡単で、PowerPointや、動画を使ってプレゼンできることがわかり、ZOOMを使って病院説明会を企画することとしました。その後は、研修医2年目の先生たちに協力をしてもらい、プレゼンの課題を探し、次には研修医1年目の先生達が、プレゼン用の資料や、病院紹介のビデオを作成してくれました。個々のスキルについてはZOOM飲み会でそれぞれ自主トレを頑張ってくれていたようです。

連休が明けて、5月16日に研修医1年目、2年目の多くの先生達で、シミュレーションを行い、

5月23日に初めて実施をいたしました。4人の学生さんと当院の研修医3人と私、そしてリモートで高橋副院長にも参加していただきました。病院の紹介を行い、研修についての質問に当院研修医の先生に答えてもらいました。広島県内では早い時期にWebでの病院説明会を始めることができたためかその後多くの申し込みがあり、5月30日以降、6月一杯は引き続き開催する予定です。

まだ、課題はありますが、多くの学生さんが当院に興味を持って、さらに当院での臨床研修を希望してもらうきっかけになればと思います。最後に、何度もシミュレーションに付き合っていただき、新しい病院紹介のシステムを作ってくれた研修医の先生達に深謝をいたします。



初期臨床研修医 益野 麻由

はじめまして、初期臨床研修医2年目の益野麻由と申します。1年間広島大学病院で研修を行い、たすきがけ制度を利用して4月より東広島医療センターで研修を開始しました。戸惑うことも多いですが、先生方、病棟のコメディカルの方々、同期や後輩に助けていただきながら楽しく研修をさせていただいております。



自己紹介です。私は竹原市出身で、幼い頃は寺家に住み医療センターにもお世話になったと聞いています。昔から西条町にはよく連れてきてもらっていたので、方向音痴ながらも土地勘があることに感謝しつつ

日々過ごしております。出身校は基町高校、広島大学で、大学では裏千家茶道部とHALSという救急救命サークルに所属し、友人にも恵まれ楽しい日々を過ごしました。趣味はミュージカル鑑賞で、数年毎に広島市で公演する劇団四季を観に行き、大阪・京都・福岡の劇場まで足を運ぶこともあります。宝塚や東宝ミュージカルも大好きでミュージカル映画もよく見るのでもし同じ趣味をお持ちの方はぜひともお声掛け下さい。

最後に、1年という短い期間ではありますが、大学では学べなかったことをどんどん吸収していくたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどどうぞ宜しくお願ひ致します。



初期臨床研修医 真田 莉花

初めまして。初期臨床研修医2年目の真田莉花と申します。1年目は広島大学病院で研修し、今年度は東広島医療センターで働くかせて頂きます。学生時代に実習でこの病院を訪れた時、実家が近いと言う事もあり病院周辺の穏やかな雰囲気に懐かしさを感じ、また、先生方がとても暖かく親切に接してくださった事で、ここで働きたいと思っ

たのを覚えています。

簡単ではありますが、自己紹介をさせて頂きます。私は生まれも育ちも広島で、大学も広島大学でした。部活は軟式テニス部に所属し、夏は紫外線、冬は冷風の中、肌を痛めつけながらテニスにいそしんでいました。





初期臨床 研修医挨拶 2

趣味は、旅行、ミュージカル鑑賞、ライブ、ディズニー、お笑いなど色々とあります。友達にはただのミーハーだとよく言われます。

写真は、部活、卒業旅行で行ったカリフォルニア、セブ島、去年の夏休みに行った北欧の写真です。もっと色々な場所に行ってみたいです！

最後になりますが、研修医として最後の1年間、たくさんの事を経験し、これから医師人生に生かしていく様、努力して参りたいと思います。

まだまだ未熟でご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



初期臨床研修医 萩本 丈人

皆さまはじめまして、研修医一年目の萩本丈人と申します。今年度広島大学を卒業し、4月から東広島医療センターで研修させていただいております。両親から丈夫な人になるようにと願いを込めて「丈人」と名付けていただきました。

私が東広島医療センターを志望したのは広島大学での実習の際、お世話になった竹石先生や金田先生が本院で臨床研修をされた方で、先生方のような医師を目指したことがきっかけです。実際に病院見学に伺った際にも多職種で構成されたチーム医療が円滑に行われているのを見て、本院で働きたいという思いが強くなりました。

簡単にですが自己紹介をさせていただきます。出身は大分県で、中学校のときは柔道、高校ではラグビー部に所属しました。そして大学では、高校に引き続きラグビー部に所属しました。大学での6年間で広島県の良さを実感し、広島に残ろうと決断しました。

萩本 丈人



趣味は筋トレ、アウトドアスポーツ、麻雀です。特に筋トレは12年以上続けており、日々鍛えてますので、体力には自信があります。コロナウイルスのせいで昨今の社会情勢は不安定で先の見えないものとなっていますが、ウイルスも吹っ飛ばすくらいの元気で研修させていただきます。

写真は1枚目が大学時代のラグビー部の写真で2枚目がラフティングで転覆した時の写真です。最後の写真が去年開催されたラグビーW杯のイングランド対アメリカの試合です。実際に会場で観戦しましたが両国の熱量に圧倒されました。

最後になりましたが、この2年間ご迷惑もおかけする事も多々あるとは思いますがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



初期臨床 研修医挨拶 3

初期臨床研修医 小浦 洋和

初めまして、初期研修医1年目の小浦洋和と申します。小浦と書いて「おうら」と読みます。今年広島大学を卒業し、4月より東広島医療センターで勤務しております。見学の際に感じた温かい雰囲気に惹かれ、この病院を志望しました。憧れの場所で働くこと、大変うれしく思っております。

自己紹介をいたします。出身は和歌山県で、中高は高校野球で有名な智弁和歌山という学校に通いました。野球好きな一方で運動の苦手な自分が、応援という形で甲子園のアルプスに立てたときの感動は格別でした。

大学時代には何かをやりきりたいと思い立ち、お遍路で四国を一周しました。四国に向かう道中

のヒッチハイクや野宿、そして1200kmの徒步で得た達成感は一生の思い出です。ちなみにその年の大晦日は室戸岬の公衆トイレで一夜を過ごしました。人生最悪の年越しであることを願っています。

これからご迷惑をおかけすることも多々あるかと存じますが、日々の学びを地域の医療・健康に繋げていけるよう精進してまいります。何卒よろしくお願ひいたします。

写真は地元の雛流しという祭り、甲子園、例の岬で初日の出に喜ぶ私、岩国で石を拾う私、そして自習中にコッペパンをくわえる私です。



初期臨床研修医 渡邊 真子

はじめまして、今年度から東広島医療センターで研修医として働かせていただきます渡邊 真子と申します。産まれ育ち、小中高と広島市出身ですが、大学は宮崎大学を卒業しました。宮崎県は本当にのどかで自然が豊かで、どこのお食事処もご飯が大変美味しく、お酒も素晴らしい取り揃え、何より人々がとても優しい土地でしたので、6年間で完全に心を射抜かれてしましましたが、それでも自分をここまで育ててくれた広島でもっと成長して貢献したいと思い舞い戻って参りました。

大学ではウインドサーフィン部と軽音楽部に所属していました。波に乗れた瞬間の快感も、誰かと一緒に演奏するときの感動も他では得られないものでした。広島でも誰かとセッション出来たら嬉しいです。

最後になりましたが、まだまだ未熟なところばかりの新米ですが少しでも誰かのお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願ひいたします。





初期臨床研修医挨拶 4

初期臨床研修医 松本 晃典

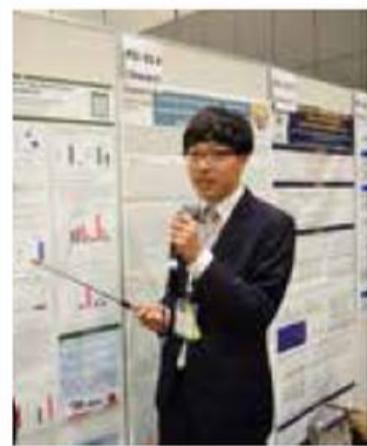
はじめまして、初期臨床研修医1年目の松本晃典と申します。今年、京都府立医科大学を卒業し、初期研修医として診療に携わっております。

私は東広島市出身で、昔に当院で診察を受けた際、職員の方々からの温かい対応の印象が強く、そのような対応のできる医師になりたいと考え、東広島に帰ってきました。

自己紹介になります。高美が丘中学校、修道高校を卒業しました。大学ではフットサル部に所属し、大会の運営や部長など経験しながら活動し、部活動以外では、友達と大学の公式150周年記念Tシャツを作成するなど楽しく大学生活を過ごしていました。また、4年

生から卒業までは臨床実習と並行し、血液の「がん」である白血病の発症に関わる遺伝子の研究に取り組んでいました。研究生活中には、University of California San Diegoへ研究留学する機会をいただき、帰国後も共同研究を行った後、日本血液学会に参加し、多くの方々に支えていただいたおかげで、様々な面から医学に関わることができました。

まだまだ医師として未熟ではありますが、東広島市の医療に少しでも貢献できるよう尽力しますので、どうぞよろしくお願い致します。



初期臨床研修医 村上 智

初めまして。東広島医療センター初期臨床研修医1年目の村上智と申します。出身は香川大学ですが、卒後は地元の東広島に帰って働きたいという想いと、東広島医療センターの温かくて活気溢れる雰囲気に強く惹かれたことから、本院での研修を希望し、そして今その夢がかなっております。

私はとにかくダンスが好きで、大学時代はダンス部に所属して部活動に励んだり、個人的にも様々なレッスンやイベントに参加したりと、日々ダンスを楽しんでいました。今の大変な状況が落ち着いたら、ぜひ広島でもダンスをしていきたいと思っています。

さらに、大学が香川だったこともあり、学生時代は

うどん巡りもしました。私はうどんが大好きで、一時期は週5でうどんを食べていました。特に香川のうどんは二日酔いにめちゃくちゃ効く(と私は信じている)ので、もし今後皆さんも香川でお酒を飲む機会があればぜひ翌日の朝うどん屋に立ち寄ってみてください！

そしてそんな学生時代も終わり、これからは社会人として働いていきます。至らない点も多々あるとは思いますが、人として、そして医師として成長していくよう精一杯頑張りますので、どうかよろしくお願いいたします。



初期臨床研修医挨拶 5

初期臨床研修医 島田 俊宏

皆様、はじめまして。初期臨床研修医1年目の島田俊宏です。この4月より東広島医療センターで研修させていただいております。社会人1年目ということもあり慣れない環境で戸惑うことも多いですが、忙しく充実した日々を送らせていただいております。

簡単ではございますが自己紹介をさせていただきます。出身は東広島市で小谷小学校→高屋中学校→基町高校を経て愛媛大学を卒業し、また地元へ戻って参りました。大学時代は合唱部に所属して日々練習に励んでいましたし、カラオケも好きでよく通っていました。今はコロナウイルスの影響で行くことが出来ないためドライブ時に車内で熱唱しています。他にこれといっ

た趣味もないのですが、仲間内でキャンプによく行っており、道具も揃えて本格的に始めてみたいなと思っています。詳しい方いらっしゃいましたらお話を聞かせていただけると嬉しいです。

最後に、わからないことだらけで皆様にご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、この2年間で多くを学び医療現場で少しでも役立てるよう努力していきたいと考えています。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



初期臨床研修医 岡田 義央

皆様、初めまして。初期臨床研修医1年目の岡田義央と申します。よく「よしお」って呼ばれるのですが、「よしひろ」が本当です。ちなみに、大学時代のあだ名は「よしお」でした。今年度、広島大学を卒業し、こちらの東広島医療センターで研修させていただくことになります。至らない点が多数あると思いますがどうかよろしくお願いします。

簡単に自己紹介をさせていただきます。出身は京都で、女優吉岡里穂と同じ高校出身です。小学校から高校まで野球をしていましたが大学からバスケットを始めました。とてもスポーツが好きなので、状況が落ち着けば院内にあるフットサルやバドミントンにも参加出来たらと思っています。

写真は学生時代の旅行の写真です。場所はアメリカです。パ

スポートを1回、リュックを1回、ネックピローを1回、携帯を2回失くしましたが(ネックピロー以外は帰ってきました)とてもいい思い出になりました。

まだまだ未熟でご迷惑をおかけすることもありますが、できるだけ早く皆さんの方になれるよう努力してまいりますので、どうかよろしくお願いします。





新採用者オリエンテーション

教育担当師長 林 祐子

春の訪れと共に、今年度も新人看護師が29名入職してきました。

毎年この時期は、初々しさの中に期待と不安の表情をした新人看護師を迎えていましたが、今年度は新型コロナ肺炎感染拡大防止のため、残念なことにマスクの下に隠れることとなりました。また研修は縮小し、現場での教育を増やして実施しています。「社会人の心構え」「看護倫理」などは講義で学び、グループワークでは「患者さんや家族に寄り添った

看護師になりたい」「患者さんにとって何がよいかを考えて看護していきたい」などの意見があり、目指していく看護師像を明らかにすることことができました。

これから新人看護師は臨床の現場での看護実践を重ね、先輩看護師と共に学びながら、成長していきます。教育担当看護師長として、新人看護師を鼓舞激励しながら、寄り添っていきたいと思います。



リハビリ新ユニフォーム

リハビリテーション科

リハビリテーション科は今年度4月よりユニフォームが変わり、紺を基調としたユニフォームになりました。スタッフ全員で案を出し合い、以前は白を基調としたユニフォームで患者様やご家族から看護師さんと間違われることが多かったため他部門とは違った色にし、また、動きやすさを重視しました。まだ見慣れていない方が多いとは思いますが新年度もスタートしたので心機一転、リハビリテーション科スタッフ全員で団結して頑張っていきたいと思います。



人事異動

採用



R2.7.1
小児科医師
山岡 尚平

退職

R2.6.30 小児科レジデント 村上 光

独立行政法人 東広島医療センター 外来診療担当表

令和2年7月1日現在

変更することがありますので、恐れ入りますが窓口でご確認ください。

診療科名		月	火	水	木	金
総合診療科	松本 正俊	小出 純子	小出 純子	小出 純子	小出 純子	小出 純子
内分泌・糖尿病内科	午前 ⑨岡田 晃 ⑩小出 純子 午後 ⑪担当医	⑨吉山 紗代 ⑩岡田 晃 ⑪担当医	⑨第1・3・5岡田 晃 ⑩第2・4 吉山	⑨小出 純子 ⑩吉山 紗代	⑨小出 純子 ⑩吉山 紗代	⑨小出 純子 ⑩岡田 晃
糖尿病療養外来	糖尿病療養外来は、毎週火曜日(祝日等を除く)の午前9時から12時まで【完全予約制】					
腎臓内科	原 愛美	入福 泰介	谷 浩樹			入福 泰介
血液内科	今川 潤	粟屋 忠祐		今川 潤	粟屋 忠祐(予約再診のみ)	
脳神経内科	⑨北村 樹里 ⑩琴崎 哲平	⑨琴崎 哲平 ⑩末田 芳雅	⑨松田 明子 ⑩琴崎 哲平	⑨末田 芳雅 ⑩北村 樹里	⑨北村 樹里 ⑩末田 芳雅 ⑪松田 明子	
呼吸器内科	⑨奥本 穂 ⑩宮崎 こずえ ⑪川口 健太郎 ⑫西村 好史	⑨重藤 えり子	⑨西村 好史 ⑩宮崎 こずえ	⑨宮崎 こずえ ⑩重藤 えり子 ⑪川口 健太郎 ⑫田中 三千彦	⑨川口 健太郎 ⑩西村 好史 ⑪棚橋 弘貴	
循環器内科	⑨東昭史 ⑩城日加里 ⑪對馬浩	⑨山里 亮 ⑩小野 裕二郎	⑨小野 裕二郎 ⑩東昭史	⑨城日加里 ⑩山里 亮	⑨對馬浩 ⑩小野 裕二郎 ⑪城日加里	
小児科	上野 哲史 原市場 香住啓嗣	下田 浩子 山岡 尚平 香住啓嗣	岡田 泰之 原山岡 香住尚平	上野 哲史 原山岡 尚平	下田 浩子 岡田 市場 香住啓嗣	
外科	高橋 忠明 宮本 和一 堀田 龍一 箱田 啓志	眞本 誠治 豊田 広一 大森 一 井澤 雅史 上田 紘幸	高橋 忠明 眞本 和一 大森 一 井澤 雅史 梶原 遼太郎	豊田 和広 大森 第1・3・5 一郎 井上	眞本 誠治 宮本 和明 堀田 龍一 第1・3・5 澤田 箱田 遼太郎	
手術日	手術日	手術日	手術日	手術日	手術日	手術日
ストーマ外来	ストーマ外来は、第4月曜日(祝日等を除く)の午後【完全予約制】					
整形外科	岸田 和彦 今藤英樹 岡悠樹 森亮 第1・3・5 神原 第2・4 山崎	今田 英明 森亮 第1・3・5 山崎 第2・4 神原	岸田 和彦 藤岡 悠樹 第1・3・5 山崎 第2・4 神原	岸田 和彦 森原智大 山崎修平	今田 英明 藤岡 悠樹 第1・3・5 神原 第2・4 山崎	
手術日	手術日	手術日	手術日	手術日	手術日	手術日
骨粗鬆症外来	骨粗鬆症外来は、第2、第4木曜日(祝日等を除く)の14時から17時まで【完全予約制】					
呼吸器外科	柴田 謙 原田 洋明	柴田 謙 仁科 麻衣	柴田 謙 仁科 麻衣	手術日	柴田 謙 原田 洋明	
皮膚科 (火・金曜日手術のため8:30~10:30まで)	間所 直樹 牛尾 由希子	間所 直樹 牛尾 由希子	間所 直樹 牛尾 由希子	柳田 のぞみ 第1・3・5牛尾/第2・4間所	間所 直樹 牛尾 由希子	
手術日	手術日	手術日	手術日	手術日	手術日	手術日
眼科(休診)						
緩和ケア外来				野村 拓司		
消化器内科	濱田 博重 石垣川 尚志 井敦	苗代 典昭 平野 大樹 南 智之	濱田 博重 石垣 尚志	井川 敦 苗代 典昭 南 智之	苗代 典昭 平野 大樹	
脳神経外科	勇木 清隆 貞友 洋樹 谷口 洋樹	手術日	谷口 洋樹 森岡 博美	勇木 清隆 貞友 品川 品川 勝弘	品川 勝弘 森岡 博美	
心臓血管外科	森田 悟	手術日	前田 和樹	森田 悟 江村 尚悟	前田 和樹	
耳鼻咽喉科	午前 宮原伸之 安藤友希	手術日	大和 賢輔 安藤友希	担当医 (手術のため緊急紹介患者のみ8:30~9:30まで)	宮原伸之 大和 賢輔	
午後 担当医(予約のみ) 手術日	宮原伸之(予約のみ)	宮原伸之(予約のみ)		手術日	安藤友希(予約のみ) 担当医	
歯科(入院患者のみ)	應原一久	松田真司		加治屋幹人	濱本結太	
泌尿器科	藤原本政治 岩本秀雄	藤原本政治 岩本秀雄	岩本秀雄 西田健介	藤原本政治 西田健介	手術日	
産婦人科 (予約制)	手術日	兒玉尚志 仙波恵樹 花岡美生	手術日	兒玉尚志 甲斐一華 仙波恵樹	花岡美生 占部甲斐一華	

【受付時間】8時30分～11時30分 診察時間 8時30分～17時15分 ○救急患者様は随時診療いたします。

歯科(入院応需)は臨時に診察曜日が変更となることがあります。

【予約受付】再診患者様につきましては、受診時に次回の診察予約ができます。また、定期的に受診されている場合には、電話での予約も可能です。 電話(082)423-1489 (平日8:30から15:00)

【産婦人科】産婦人科外来は原則的に初診も含めて予約制です(火曜日・木曜日・金曜日)。

【診療日】月曜日～金曜日(土曜日・日曜日・休日・年末年始は休診となります。)



■お問い合わせ
独立行政法人 国立病院機構
東広島医療センター

〒739-0041
広島県東広島市西条町寺家513番地

ホームページ
<https://higashihiroshima.hosp.go.jp/>

Webからは 東広島医療センター

検索

TEL082-423-2176 FAX082-422-4675